



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー&プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2303

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000002851/F/USA/JP
承認日: 2003年10月07日
作成日: 2003年11月26日

1 製品名

コダック フレキシカラー SM 漂白タンク液

CAT No.882469-0

2 危険・有害性の分類

該当成分: PDTA鉄アンモニウム(111687-36-6)、1,3-ジアミノ-2,7-ピロレン四酢酸(3148-72-9)、酢酸(64-19-7)、硝酸アンモニウム(6484-52-2)を含む。

注意!

加熱すると分解する。乾燥した暖流物は還元剤として作用する。
衣服などに付着して乾燥すると火災の原因になることがある。
通常取扱いでは、危険性は少ないと予測される。
眼に炎症を起こします。

3 物質の特定

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	55-60	7732-18-5	
PDTA鉄アンモニウム	10-15	111687-36-6	
硝酸アンモニウム	12	6484-52-2	
臭化アンモニウム	9	12124-97-9	
酢酸	1-5	64-19-7	
1,3-ジアミノ-2,7-ピロレン四酢酸	1-5	3148-72-9	

4 応急措置

- 吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所に移動する。症状に応じて対処する。症状が続くならば、医療手当を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに水で洗い流す。症状が出たら、医療手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹸と水で十分に洗う。症状が出たら、医療手当を受ける。
- 誤飲した場合 : コップ 1~2 杯の水を飲み、内科医の手当を受ける。被災者が意識喪失の場合は何も口から与えてはならない。

5 火災時の措置

- 消火手段 : 水噴霧、二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、発泡消火剤
- 火災時の特別対応手段 : 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により有害な分解物質を生じることがある。
火災の近くの容器は水をかけて冷す。
- 有害燃焼物質 : 二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、臭化水素(「危険分解物質」の項も参照)
- 異常火災/爆発の危険性 : 強酸化剤を含んでいる。乾燥した残留物は酸化剤として作用する。高温で分解する。

6 漏出時の措置

多量の水とともに流す。他の方法として、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭き取る。不燃性容器に回収して直ちに廃棄する。漏洩箇所は水噴霧で洗い流す。

7 取扱い・保管上の注意

- 取扱い : 霧や蒸気を吸い込まない。眼に入れない。長時間または繰り返し皮膚に付着させない。適度な換気を行う。取扱い後は十分に手などを洗う。
- 火災や爆発の防止 : 酸化剤から離す。不適合物質から離す。汚染した衣服は直ちに脱ぎ洗濯する。熱から離す。
- 保管 : 可燃物と一緒に保管、輸送しない。元の容器で保管する。容器を密閉して水分の蒸発を防止する。
不適合物質から離す(「不適合物質」の項を参照)。

8 暴露防止措置

許容濃度:

ACGIH (TLV):

酢酸 : 10 ppm TWA, 15 ppm STEL

OSHA (USA) (PEL) (1971 表 Z-1 値)

酢酸 : 10 ppm TWA

換気:

換気の良い場所で取り扱う(例えば10 air changes/時間)。換気速度は使用状態に合わせる。通気が良くない、蒸発面積が広い、噴霧、加熱などの特別な条件では、補助的な集中排気、システムの密閉、呼吸器官の保護が必要になることがある。

呼吸器系の保護:

技術的に空中濃度を指定許容限度以下に維持できない場合は、保護マスクを着用する。

保護マスクタイプ : 有機ガス用。有害な分解生成物が発生する恐れがある場合または既に発生している場合には、送気マスクを着用しなければならない。

保護マスクタイプ : フルフェース型送気マスク。「危険性情報(安定性・反応性)」の項を参照。保護呼吸器を使用する場合は、OSHA 規格の 29CFR1910.134 と 29CFR1910.1048 に適合する措置を講じること。

眼の保護 : できるだけ眼に入らないようにする。側板付き安全メガネまたはゴーグル保護メガネの着用。

皮膚の保護 : 皮膚への付着を最小限にする。長時間または繰り返し皮膚に付着するような場合は不浸透性の手袋を着用する。

浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(安全シャワー)

9 | 物理・化学特性

外 観	液 体
色	緑褐色
臭 気	弱酢酸臭
比重(水 = 1)	1.17
蒸気圧(20)	23 hPa (18 mmHg)
蒸気密度(空気 = 1)	0.6
揮発留分(重量)	55 ~ 60%
沸 点	> 100
水溶性	完 全
pH	4.5
引火点	な し

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定。215 以上で分解する可能性がある。115 より高温にしないこと。

不適合物質 : 強還元剤のような可燃物と激しく反応する。強酸化剤、塩基、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)。

塩基と接触すると燃焼性物質を発生する。

危険分解物質 : アンモニア、クロラミン

危険重合物質 : 発生しない。

11 有害性情報

PDTA鉄アンモニウム(111687-36-6)を含む。高濃度に接触すると、泌尿器からの亜鉛およびカルシウムの排出が増加することがある。

暴露の影響:

- 吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予測される。
 眼 : 知見なし。一時的な炎症を起こすことがある。
 皮膚 : 通常取扱いでは、危険性は少ない。
 誤飲 : 危険性は少ないと予測される。

12 環境影響情報

この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。

本製品の主要成分のデータに基づいて本製品の環境への影響を評価しますが、実際には試してはいません。

本製品は中庸の酸性水溶液で、自然環境への悪影響を及ぼすと考えられる。水質系に流出した場合、BODは低く、酸素を破壊する可能性はほとんどない。水中生物への影響は小さい。二次廃棄物処理微生物代謝に影響を及ぼす可能性は低い。一部の植物の発芽や初期の成長に影響を及ぼす可能性は高く、光化学および化学的退化の可能性が高い。生物分解処理はされにくい。多量の水で希釈したうえ二次廃棄物処理を行えば、自然環境に放たれても問題はないであろうと思われる。

13 廃棄上の注意

本製品を未使用で廃棄する場合は、特別管理産業廃棄物に該当する。特別管理産業廃棄物処分業の免許を持った業者へ特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて依頼する。

廃棄時に適用される法規

- 廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃酸)
 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
 下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

Air Transportation

- Class : 8
 UN-No. : UN1760
 Proper Shipping Name : AMMONIUM BROMIDE
 Subsidiary risk : -----
 Packing group : III
 Passenger Aircraft : -----
 Cargo Aircraft Only : Cargo Only Pkg. Inst :C820

15 適用法規

該当なし

化学物質管理促進法 (PRTR 法) : -----
毒物劇物取締法 (毒劇法) : -----
労働安全衛生法 (安衛法) : -----
消防法危険物分類 (消防法) : -----

16 その他

危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、
取扱いには十分注意してください。